

「クラゲになって泳ぎたいなあ」

佐々木 瑠花（ささき るか）3歳

幼保連携型認定こども園むつみ保育園（東北教区）

画面に大きく描かれているのは自分自身ですね。描きながら、想像の世界の中で、クラゲになって水の中を自由に泳ぎ回っています。頭足人で自分を表現できる瑠花さんは、触手を何本も描くことでクラゲに変身しています。水遊びを存分に楽しんだあとだけに、その時の水の冷たさや感触からイメージを広げて、水を全身で感じながら、気持ちよくスイスイと泳いでいるのです。周りには、仲間のクラゲやお魚たちも泳いでいるように見えます。

瑠花さんは、はじめにクレヨンの線で描き始めています。そして、描きながらイメージがどんどんと広がっていったのでしょうか。思いっくままに、手にしたクレヨンで一機に描いていった様子が覗えます。この最初に描いた線、内容にこそ、作品のいのち、大きな意味があります。もちろん、黒一色で描いていても、描きながらそこにちゃんと色を見えています。絵の具の彩色よりも、最初に描いた線をしっかり見てあげる
ことが大切です。

●表紙のことば●



おお はし いさお
大橋 功
和歌山信愛大学